

TOKYO WONDER SITE On Site Labo lecture series

瀧口修造が日本の現代美術界に残した功績は大きい。そのひとつが、「タケミヤ画廊」での活動です。戦後若手芸術家の展覧会を個展163回、グループ展45回を5年10ヵ月にわたって紹介し、多くの新人を世に送り出してきました。トーキョーワンダーサイトも2001年に開館以来、すでに40人を超える若手芸術家を紹介してきました。ここワンダーサイトにおいて、瀧口修造の業績を振り返ると同時に、現在の日本における若手芸術家をめぐる状況と今後のあり方について語り合います。

瀧口修造とタケミヤ画廊を通してみる美術の未来

program

- 第1回 6/18 (土) 「瀧口修造、タケミヤ画廊を通してみる美術の未来」
講師：池田龍雄／前田常作／住友文彦／佐谷和彦／今村有策
- 第2回 6/25 (土) 「芸術をめぐる環境の未来にむけて瀧口修造とアーカイブ」
講師：前田富士男／海老塚耕一／村田慶之輔／佐谷和彦／今村有策
- 第3回 7/2 (土) 「封印された星」の旅ー瀧口修造の戦後
講師：巖谷國士



撮影：北代省三



撮影：羽永光利

主催：トーキョーワンダーサイト

企画協力：佐谷和彦（佐谷画廊）

池田龍雄

画家



1928年佐賀県生まれ。1948年多摩造形芸術専門学校(現多摩美術大学)入学。まもなく花田清輝、岡本太郎らのアヴァンギャルド芸術運動に参加。以来、文学や映画など、多くのジャンルと深く交わりながら一貫して美術の前衛として今日まで活動し続ける。国内外での個展、グループ展多数。国立近代美術館、東京都美術館、東京都現代美術館、国立国際美術館、練馬区美術館などのパブリックコレクション多数。著書に『芸術アヴァンギャルドの背中』『絵画の距離』『夢・現・記』『精絵の夢』

巖谷國士

仏文学者・評論家・紀行作家・明治学院大学教授



1943年東京生。東大文学部卒。仏文学者・評論家・紀行作家・明治学院大学教授。学生時代に瀧口修造と出会う。以来、親密な交流をつづけた。『シュルレアリスムとは何か』『シュルレアリスム宣言』『ナジャ』『ナジャ論』など、著書・訳書多数。最近封印された星一瀧口修造と日本のアーティストたち(平凡社刊)を瀧口修造にささげた。

海老塚耕一

美術家 多摩美術大学教授



1951年横浜生まれ。第6回インド・トリエンナーレ、87年第19回サンパウロ・ビエンナーレ、第4回バンコクラデシュ・ビエンナーレ、90年「プライマル・スピリット—今日の造形精神」、ハラ・ミュージアム・アーク/群馬、ロサンゼルス・カウンティ美術館、シカゴ現代美術館、シカゴ現代美術館ほかを巡回。91年彫刻展(第15回平田田中賞受賞記念)高島屋、田中美術館を巡回。01年第19回現代日本彫刻展。02年FOCUS2002「結界 海老塚耕一展」、神奈川県民ホールギャラリー。04年大坂・梅田ハービスENTに「水の階・風の象I、II」を設置。

佐谷和彦

佐谷画廊主



1928年京都府舞鶴市生まれ。京大文学部経済学部卒業後、農林中央金庫、南面を経て78年佐谷画廊創設。81年よりオマーージュ瀧口修造展を毎年開催。著書に『画廊のしごと』(88年美術出版社)『アート・マネージメント』(96年平凡社)『原点への距離』(02年沖積舎)。90年より慶應義塾大学ほかで美術業界に関するレクチャー多数。

住友文彦

インターコミュニケーションセンター・AIT



1971年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科表象文化論コース修了。「ジョイン・ミー!」展(1996)、「クリスティアン・メラ」展(1997)、「シン・ネシャット」展(2001)「疑いの実験室」(2002)等々のキュレーションを担当。共著に『実験工房』とテクノロジー『エクストムジカ』第2号(ミュージックスケープ、2000年)などがある。

前田常作

画家 武蔵野美術大学名誉教授



1926年富山県生まれ。武蔵野美術学校卒業。第1回国際青年美術展にて大賞を受賞。第11回日本芸術大賞受賞。抽象画から具象の形骸化にテーマを転じ、観想曼荼羅回シリーズ、須弥山曼荼羅シリーズ等の作品を発表。『曼荼羅への旅立ち』(河出書房新社)『心のデッサン』[対談](佼成出版社)『前田常作のアクリル画』(河出書房新社)などの著作がある。

前田富士男

慶應義塾大学教授



慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。現在は、慶應義塾大学文学部(美学美術学専攻)教授、慶應義塾大学アート・センター所長。西洋近代美術史・芸術学を専門とし、また芸術研究アークイブをアート・センターで構築している。

村田慶之輔

美術評論家



文化庁芸術課、国立国際美術館を経て、現在、川崎市立岡本太郎美術館、館長美術評論家。京都造形芸術大学教授。

今村有策

トーキョーワンダーサイト 館長・東京都参与



1959年福岡県生まれ。1983年日本大学大学院理工学研究所建築学専攻卒業。(株)磯崎新アトリエ入社。文化庁在外研究員、コロンビア大学(ニューヨーク)客員研究員。ライフスケープ研究所設立。建築を「場(サイト)が生まれる」という観点から、様々なプロジェクトを手がける。2001年、東京都参与(文化担当)、トーキョーワンダーサイト館長に就任。

■関連コンサート

日時: 7月1日(金)午後7時より 3000円
会場: ワンダーサイト2 料金: 3000円

【大宅裕+ピート・ヴァン・ボックスタール コンサート】

実験工房の仲間による曲目も演奏されます
曲目: 武満徹 (1930-1996) / 遮られない休息、第一番(1952)
湯浅譲二(1929-) / 内触覚的宇宙(1957)ほか

■ADDRESS

〒113-0033
東京都文京区本郷2-4-16
■PHONE[FAX]
03-5689-5331(03-5689-7501)

■OPEN

11:00-19:00 月曜日休館(祝日の場合 翌火曜日)

■ACCESS

御茶ノ水駅・水道橋駅(JR総武線)
下車徒歩7分
水道橋駅(都営地下鉄三田線)
下車徒歩7分
御茶ノ水駅・本郷三丁目(東京メトロ丸の内線)
下車徒歩7分
本郷三丁目(都営地下鉄大江戸線)
下車徒歩7分
※駐車場はございません。



参加希望の□にチェックをお入れ下さい。

- 第1回 2005年6月18日[土]午後2時~5時
- 第2回 2005年6月25日[土]午後2時~5時
- 第3回 2005年7月2日[土]午後2時~5時

会場: トーキョーワンダーサイト
定員: 60人

参加費: 1回お一人様1000円(当日精算) ※レクチャー(1部)後のオープンディスカッション(2部)時のドリンク代も含まれます

※定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。ファックスの場合は下記のお申し込み欄にご記入下さい。

■プレトーク・イベント[オマーージュ瀧口修造展のカタログ展示]

シンポジウム開催前の午後1時~1時30分まで、オマーージュ瀧口修造展のカタログ25冊—1981~2004—を展示しております。このシリーズを企画した(佐谷画廊)佐谷和彦氏の解説があります。

On Site Labo lecture series お申し込み

住所・氏名・電話を明記の上、FAXまたはe-mailでトーキョーワンダーサイトまでお申し込みください。

フリガナ お名前	職業
ご住所	〒
電話	FAX
	e-mail

お客様から個人情報をご提供いただく場合、その情報は、お客様からのお問い合わせおよびご要望に対して回答または対応する目的、または個人情報をご提供いただく前に予め明示する目的にのみ利用いたします。お客様の個人情報をこれら正當な目的以外に無断で利用することはありません。詳細は当サイトをご覧ください。http://www.tokyo-ws.org/